

| | |
|------------------|---|
| Title | 企業の戦略的意思決定に対する考察-トップはなぜ意思決定を誤るのか- |
| Sub Title | |
| Author | 渡部, 保博(Watanabe, Yasuhiro) 小幡, 績 |
| Publisher | 慶應義塾大学大学院経営管理研究科 |
| Publication year | 2008 |
| Jtitle | |
| JaLC DOI | |
| Abstract | |
| Notes | 修士学位論文. 2008年度経営学 第2387号 連絡が必要 |
| Genre | Thesis or Dissertation |
| URL | https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00002008-2387 |

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

論文要旨

| | | | | | |
|---|-------|------|----------|----|-------|
| 所属ゼミ | 小幡研究会 | 学籍番号 | 80731224 | 氏名 | 渡部 保博 |
| <p>(論文題名)</p> <p>企業の戦略的意思決定に対する考察 — トップはなぜ意思決定を誤るのか —</p> | | | | | |
| <p>(内容の要旨)</p> <p>業界のリーディングカンパニーであった企業や、優良企業として評価されていた企業など、成功を取めた数々の企業が、経営の行き詰まりや、経営破綻などの失敗を起こしている事も少なくない。</p> <p>経済のグローバル化や IT 化などの進展に伴って、企業経営における戦略は、実務面においても理論面においてもより重要視されるようになってきている。戦略自体の重要性と共に、その戦略策定における意思決定を行なう、CEO を始めとしたトップの戦略的意思決定の重要性も当然のように高まってきている。企業は、顧客や株主など様々なステークホルダーに対する責任を持っており、社会への価値提供を通じた企業価値向上を図らなければならない。長期的視点に基づいた意思決定と称して意思決定を行なっているにもかかわらず、実際のパフォーマンスは短期的にも長期的にも良いものとは言えない状況が散見される、つまり、トップは失敗を認識しながらも誤った意思決定を行なっており、その継続によってパフォーマンスの悪化を招いていると考えられる。</p> <p>本論文では、前述のように、トップの意思決定が企業のパフォーマンスに大きく影響を及ぼしているとの仮説のもと、事例研究を通して分析および検証を実施した。さらに、その要因を考慮した施策を提言する事で、今後の企業経営をより効率的なものへと改善するための手立てを与えた。事例研究においては、失敗事例と成功事例の二つに区分して複数社の企業を取り上げて企業およびその CEO について分析および検証を実施した。結果として、失敗企業と成功企業の間共通点と相違点がある事が判明し、それらの共通点および相違点を踏まえて、CEO および CEO による意思決定に対する提言を行なった。</p> | | | | | |